

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

公共交通困難地域のタクシー券7月から実施！

八千代市の地域には公共交通の恩恵にあずかれない人々がたくさんいます。ぐるっと号の廃止やコミュニティーバスの廃止もされました。とりわけ北部地域の人たちにとっては買い物や公共施設の利用ができず、不便をきたしています。同じ八千代市に住んでいながら、人口が密集している地域とは違って、不便な状況が改善されていません。

日本共産党は3月議会で公共交通困難地域の問題を取り上げ、待ったなしの状況を訴え改善を迫りました。そして全面的な解決ではありませんが、最も困難をきたしている人たちのための改善策を行うという回答がありました。

それが7月から実行されている「高齢者外出支援事業」です。
内容は下記の通りです。



高齢者外出支援事業の助成対象者は、公共交通の利用が困難な区域に居住し、かつ住民基本台帳に記録されている者で、以下のいずれかに該当する者

①75歳以上の者のみで構成される世帯に属する者（単身世帯含む）

②75歳以上かつ介護保険法に規定する要介護1・2、要支援1・2に該当する者

助成金額は 1枚500円のタクシー券 年48枚を限度に交付。

事業期間は 平成27年7月から平成28年度3月まで

なお、27年度は国庫補助金を活用して実施。

***昨年8月1日から「障害者等タクシー利用助成」（タクシー券の復活）がはじまり、この交通費は心身に障害のある方や要介護3以上の方となっています。**

前号でお知らせした八千代台地域のバスの運営も28年3月までです。

長期にわたる交通不便地域対策の継続を

地域コミュニティーバスの運用は全国の自治体で取り組まれています。

大型のバスではなく小回りの利く車で、地域のマンパワーを生かし、人と人を結ぶ地域づくりを構想しながら、国の補助金など有効に活用した取り組みが大切です。そして行政は住民の要求を取り上げ、積極的に提案して、住民自治を生かして実現する姿勢が求められています。

政府が地方創生のために交付金を自治体に配り、プレミアム商品券等を利用するよう誘導しましたが、地方自治体が有効な使い方ができないやり方では地方を創生することはできません。今の国の誘導では、再び地方の衰退は免れません。地方自治を生かし、住民が主人公となって市政や国政を動かしていきましょう。